

食品表示検定 初級 試験問題例
(第16回試験問題より抜粋)

2018年1月

一般社団法人食品表示検定協会

【準拠テキスト】 第16回の初級試験は、2016年1月に発行された改訂4版認定テキスト・初級に準拠した問題が出題されました。

※解説欄の出所ページは改訂5版初級テキストのページを示しています。

【問題例 1】 食品のトレーサビリティに関する次の①～④の記述の中で、その内容が最も不適切なものを1つ選んでください。

- ① トレーサビリティ(traceability)とは、「trace(追跡)」と「ability(可能性、能力)」の2つの単語を組み合わせた言葉である。
- ② トレーサビリティとは、生産者が衛生管理の状況について、記録しておくことである。
- ③ トレーサビリティが確立していれば、食品の安全性に関わる事故や不適合が発生した際に、対象商品を特定した迅速な対応ができる。
- ④ トレーサビリティが確立していれば、食品の流通経路の透明性が確保され、表示の正しさを検証できる。

【問題例 2】 次の表示例において内容が最も不適切な表示を、次の①～③の中から1つ選んでください。

《精肉店での表示(無包装の場合)》

①	②	③
比内地鶏 むね肉 秋田県産 100g当たり〇〇円	牛ロース肉 (焼肉用) ニュージャージー州産 100g当たり〇〇円	ラム肩ロース (ブロック) オーストラリア産 100g当たり〇〇円

【問題例 3】 「アレルギー表示」に関する次の①～③の記述の中で、その内容が最も不適切なものを1つ選んでください。

- ① アレルゲンとして必ず表示しなければならない特定原材料は、「卵、乳、小麦、えび、かに、そば、落花生」の7品目である。
- ② アレルギー表示をする際に、複数のアレルゲンがあるときは「・」(ナカグロ)でつなげて表示する。
- ③ アレルゲンを一括表示する場合、アレルゲンが原材料として表示されていれば、一括表示に改めて表示する必要はない。

